



## がん検診費用助成を ご活用ください!

がんは、日本人の2人に1人がかかる病気です。町で行っているがん検診の費用助成を活用して、がん検診を受けてみませんか。

☎健康福祉課健康係 ☎028(677)6042



### がんセンターでの検診費用助成

希望者は、がんセンターに直接お申し込みください。なお、町で実施しているその他の検診などと重複して受診することはできません。

実施期間 令和7年1月31日(金)まで

申込 栃木県立がんセンター ☎028(658)5151 (平日9:00~16:00)

主な検査内容 (年齢基準日は令和7年3月31日)

検査項目	検査方法	料金(税込)	町助成分	自己負担額	対象
肺がん	ヘリカルCT撮影	16,170円	8,000円	8,170円	40歳以上の 男性・女性
胃がん	胃部内視鏡検査	15,090円	7,000円	8,090円	
大腸がん	便潜血反応検査	1,710円		1,710円	
肝・胆・膵	腹部超音波検査	5,830円	2,000円	3,830円	50歳以上の男性
前立腺がん	PSA検査	3,790円	1,000円	2,790円	
乳がん	マンモグラフィ	6,180円	3,000円	3,180円	40歳以上の女性
子宮がん	頸部細胞診・内診	4,410円	2,000円	2,410円	20歳以上の女性

※検査費用についてはセット料金などがあるため、詳細はがんセンターへお問い合わせください。

※ヘリカルCTでは、肺の隅々まで検査するので肺がんの早期発見が可能です。喫煙者、喫煙歴がある人、同居家族に喫煙者がいる人などで、ご心配な場合はご活用ください。



### 子宮がん施設検診費用助成

受診を希望する場合は、健康福祉課健康係へお申し込みください。なお、町で実施しているその他の子宮がん検診と重複して受診することはできません。

対象 4月以降に子宮がん検診を受診していない20歳以上の人 (年齢基準日は令和7年3月31日)

実施期間 令和7年2月28日(金)まで

実施機関

期間を延長しました



実施医療機関	電話番号
芳賀赤十字病院	☎0285(82)2195
柳田産婦人科・小児科医院	☎0285(84)1833
西真岡アクセプトインターナショナルクリニック	☎0285(80)1000
小菅クリニック	☎0285(84)3511
岡田・小松崎クリニック	☎0285(84)1941
ゆめクリニック	☎028(611)1881

検査内容等

検診項目	自己負担額
子宮頸部がん検診	700円
子宮頸部+体部がん検診(医師が必要性を認めた人のみ)	1,100円

1 医療機関に検診予約



2 健康福祉課健康係に申請(電話または窓口)  
・受診券を受け取る

3 受診券を持参して受診



平成9年度~平成24年度生まれの女性の皆さん!

## 子宮頸がんワクチンを受けませんか?



☎子育て支援課母子保健係 ☎028(677)6040

日本では毎年約1.1万人の女性が子宮頸がんにかかり、約2,900人の女性が子宮頸がんによって亡くなっています。子宮頸がんを苦しめないために、今からできることとして「HPVワクチン接種」があります。接種を希望する人は、母子保健係にお問い合わせください。

### 定期接種対象

小学6年生~高校1年生相当の女子(平成20年4月2日~平成25年4月1日生まれ)

### キャッチアップ対象

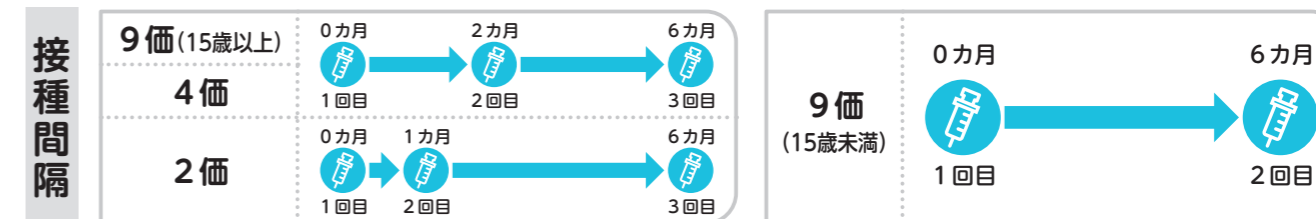
平成9年4月2日~平成20年4月1日生まれの女子でワクチンの接種が完了していない人

HPVワクチン接種の機会を逃してしまった人も定期接種対象者と同様に公費で接種を受けることができます。  
※令和5年4月1日~令和7年3月31日に接種した場合のみ。  
※今までに接種を受けたことのある人は、3回接種のうち残りの回数分を公費で受けられます。  
※令和4年4月以前に任意で2価または4価の接種を受けた人は、個別にご相談ください。

⚠️ キャッチアップ対象者が公費で接種を受けられるのは、**令和7年3月末まで**です。接種は合計3回で、完了するまでに約6カ月かかるため、接種を希望する方は、お早めの接種をご検討ください。

### ワクチンの接種回数と標準的なスケジュール

決められた間隔をあけて、同じワクチンを2回または3回接種します。



ワクチンについての詳細は、厚生労働省ホームページで確認できます。



厚生労働省ホームページ

### チェック!

子宮頸がんは、若い年齢層で発症する割合が高く、20歳代から30歳代までに治療で子宮を失ってしまう(妊娠できなくなってしまう)女性も、1年間に約1,000人います。

#### 子宮頸がんの原因は?

子宮頸がんはHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染が原因と考えられています。HPVの主な感染経路は性的接触によるもので、女性の多くが一生涯に一度は感染するといわれています。ワクチン接種を受けてHPVに感染しないようにすることが、子宮頸がんを予防する手段の一つです。